

文法をやさしく

ぶん ぼう

第6回 Vている

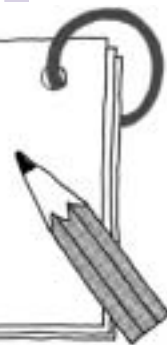
だい かい

学習段階：初級後半

がくしゅうだん かい しょきゅうこう はん

キーワード：アスペクト、結果の状態、動作の継続

けつ か じょうたい どう さ けいぞく



前回は「Vてきた・Vていく」の説明の中で、アスペクトの文法形式について少しだけおぼやかしなりました。今回もこのアスペクトに関する「Vている」をとりあげます。

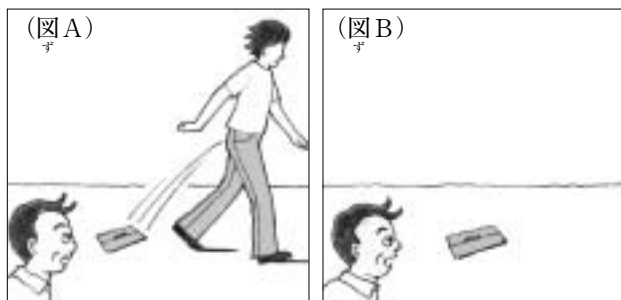
1. 状態について

まず、〈1〉〈2〉を見てください。

〈1〉 あ、さいふが落ちた。

〈2〉 あ、さいふが落ちている。

〈1〉と〈2〉では、話し手が見たものが違います。それぞれどちらの絵か考えてください。



〈1〉の「落ちた」では、お金が落ちるできごと（動き）を見たこととなります（図A）が、〈2〉の「落ちている」のほうではお金が落ちるできごとを見ているのではなく、落ちたあと今もそこにある状態を見えています（図B）。

ほかの例も見てください。下の新聞記事の例を見てください。インターネットのサービスで、コンピュータがフリーズしたときなどに問題が解決できると書いてあります。

日本IBMは16日から顧客のパソコンのこんなトラブルを、インターネットなどを通じて復旧するaサービスを始める。米国では先行してbサービスを始めているが、

(後略)

顧客…客
復旧する…なおす
トラブル…trouble

2003年4月15日『朝日新聞』p.10

「PCトラブルを自動解決」より

(下線およびa bは荒川・木山による)

下線のa bに注目してください。この記事によると、日本ではこれからサービスを始めるそうです。では、米国ではどうでしょう。「先行してサービスを始めている」というのは、「先に始めて、今もその状態が続いている」わけですから、利用者は今そのサービスが受けられる状態です。

〈2〉でもbでもいえるのは、あるできごと（動作）が起きてその結果がそのまま続いていることです。ここではこのようなアスペクトを「結果の状態」と呼ぶことにします。

2. 「Vている」の使い方

次の〈3〉～〈6〉を見てください。結果の状態を表しているのはどれでしょうか。

〈3〉 A：コピーしたいんですけど。

B：すみません。今、使っています。

〈4〉 A：サンドイッチ、まだありますか。

B：たまごサンドが少し残っています。

〈5〉 あのぼうしをかぶっている人はだれですか。

〈6〉 10時ごろはテレビを見ています。

答えは〈4〉〈5〉です。これに対して〈3〉〈6〉は動作が続いている状態、つまり継続であることを表します。〈3〉は、今、話し手がコピーの機械を使うという動作をしている状態です。〈6〉は、夕食後の過ごし方などを話しているときなどにいいます。そのころはテレビを見ているという状態が続いていることを表しています。

では、結果の状態と動作の継続はどうやって区別するのでしょうか。

3. 動詞の意味と「Vている」の意味

次の会話例を見てください。

つぎ かい われい み

(ホーム・パーティーで)

客：妹さん大学院生だそうですが、独身ですか。

兄：c 結婚していますよ。去年 c' 結婚しました。

客：そうですか。妹さんのご主人もここにいらっしゃいますか。

兄：ええ、今、妹といっしょに d ダンスしていますよ。

客：楽しそうにダンス o しています / x しました d' ね。



c は (4) (5) と同様、結果の状態を表しています。

結婚して独身でなくなったのは、結婚の手続きが終わった瞬間です。このように動きや変化が起きてから、とても短い時間 (= 瞬間) で終わる動詞の場合、「Vている」は結果の状態を現すことが多いといえます。

d は (3) (6) と同様、動作の継続を表します。ダンスのように始まってから終わるまでに時間がかかる動作や変化を表す動詞は動作の継続になりやすいといえます。「Vている」が結果の状態を表す c や (7) は、その場で「Vました」も使えます (c') (7')。d や (8) は動作の継続の「Vている」で、「Vました」は使えません (d') (8')。

(7) 課長は先週から入院しています。来週退院します。

(7') 課長は先週入院しました。来週退院します。

(8) 課長はけさから手術を受けています。もうすぐ終わるでしょう。

(8') 課長はけさから手術を受けました。もうすぐ終わるでしょう。《??》

(9) (10) はどちらにも同じ「はく」という動詞が使われています。文の意味を比べてみてください。

(9) 工事中は、みんな丈夫で安全な靴をはいています。

(10) (幼稚園が終わり、家へ帰る時間に)

子どもたちが自分でいっしょうけんめい靴をはいています。

(9) は工事現場の人たちの服装を説明する文です。靴をはいたのは工事中ではなく、その日の工事を始める前です。これは結果の状態です。一方 (10) は、幼稚園の玄関で、子どもたちが靴をはこうとするようすを述べています。小さな子が靴の右と左を確かめたり、ひもを結んだりするには、ちょっと時間がかかるでしょう。つまり、この例は動作の継続の「Vている」です。

このように、同じ動詞が「Vている」文型に使われていても、アスペクト上で違う意味になることはよくあります。大切なことは「Vている」の文の意味は、その語のまわりにどんなことばがあるか、どんな文脈や場面で行われているかによって、初めてわかるということです。

クイズ

(a)~(d) から結果の状態の「Vている」を選んでください。答えは2ページにあります。



場面：飛行機でパーサーが忙しそうに(a)働いています。

乗客 A：この料理は、豚肉を(b)使っていますか？

パーサー：いえ、お肉はとり肉だけでございます。

乗客 B：あのう、今、だれがお手洗いを(c)使っていますか。

パーサー：そうですね。(d)ランプがついていますから……。

参考文献

庵功雄・清水佳子 (2003) 『日本語文法演習 時間を表す表現—テンス・アスペクト—』スリーエーネットワーク

このコーナーについてご感想やご質問があれば送ってください。

担当者：荒川みどり (日本語国際センター客員講師)、木山登茂子 (日本語国際センター専任講師)